

1 2月定例会の審議結果をお知らせします

審議された議案		結果
予算	令和元年度平田村一般会計補正予算（第3号） ※専決処分した事項の報告及び承認について 予算総額 48億754万3000円（歳入歳出予算それぞれ 1億2421万9000円を増額） 主な内容 （歳入） 財政調整基金繰入金 1億2421万9000円を増額 （歳出） 公共土木施設災害復旧費 5646万1000円 農地等災害復旧費 5536万2000円を増額	承認
	令和元年度平田村一般会計補正予算（第4号） 予算総額 51億3232万円（歳入歳出予算それぞれ3億2477万7000円を増額） 主な内容 （歳入） 社会資本整備総合交付金 6302万3000円 財政調整基金繰入金 4383万6000円 過疎対策事業債 6440万円を減額 地方交付税 6446万7000円 公共土木施設災害復旧事業国庫負担金 7816万円 農地災害等補助金 1億6950万円 災害復旧事業債 1億2620万円を増額 （歳出） 地方道路改良費委託料・工事請負費 9940万円を減額 公共土木施設災害復旧費 1億925万円 農地等災害復旧費 2億7640万円を増額	可決
	令和元年度平田村国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 予算総額 9億2773万3000円（歳入歳出予算それぞれ201万円を減額） 主な内容 （歳出） 退職被保険者療養給付費 1000万円を減額 一般被保険者療養給付費 799万円を増額	可決
	令和元年度平田村介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 予算総額 6億2171万2000円（歳入歳出予算それぞれ3066万円を増額） 主な内容 （歳入） 介護給付費準備基金繰入金 2022万5000円を増額 （歳出） 施設介護サービス給付費 2300万円を増額	可決
	令和元年台風第19号災害による被災者に対する村民税等の減免に関する条例の制定 ※専決処分した事項の報告及び承認について 令和元年台風第19号により災害にあった被災者を迅速に支援するため、村民税、固定資産税、国民健康保険税、介護保険料の減免措置をするもの	承認
条例	会計年度任用職員の給与に関する条例の制定 特別職非常勤職員及び臨時的任用職員の任用の厳格化並びに一般職の非常勤職員の任用などに関する制度を明確化するため、フルタイム会計年度任用職員に対する給料及び手当等について条例を制定するもの	可決
	会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定 特別職非常勤職員及び臨時的任用職員の任用の厳格化並びに一般職の非常勤職員の任用などに関する制度を明確化するため、パートタイム会計年度任用職員に対する報酬、期末手当及び費用弁償等について条例を制定するもの	可決

条例

平田村森林環境譲与税基金条例の制定 平田村の森林整備に資する所要の資金を積み立て、林業の活性化を図る資金とするため制定するもの	可決
ジュピアランドひらた設置及び管理に関する条例の制定 ジュピアランドひらた敷地を国有林からの払い下げに伴い、現行のジュピアランドひらた条例を廃止し、新たに条例を制定するもの	可決
平田村中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定 中小企業及び小規模企業の成長発展及びその事業の持続的発展並びに地域経済の活性化を図り、村民の生活の向上に資するために制定するもの	可決
職員の給与に関する条例の一部改正 福島県人事委員会の勧告に準じて、職員給与月額を若年層に重点を置いて引き上げ、また勤勉手当の年間支給割合を 0.05 月分引き上げるもの	可決
平田村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 放課後児童支援員等の資格を国の基準改正に伴い所要の改正を行い、現行の平田村放課後児童健全育成事業児童クラブ設置条例を廃止するもの	可決
平田村災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正 災害により被害を受けた世帯に対し、災害援護資金をより活用しやすくするため、据置期間経過後も無利子に改正するもの	可決
平田村単独住宅設置及び管理条例の一部改正 乙空釜単独住宅の除却及び旧小平中学校校長住宅、永田教員住宅を単独住宅に用途転換するもの	可決
平田村教職員住宅設置条例の廃止 校長住宅・教員住宅の管理課を教育課から地域整備課に所管替えし、また老朽化した旧蓬田中学校校長住宅の廃止にともない、平田村教職員住宅設置条例を廃止するもの	可決

その他

工事請負変更契約の締結 (仮称) 平田村こども園建築工事の請負額を、消費税率の変更に伴い変更契約するもの 請負総額 8 億 971 万円 (1472 万 2000 円増額)	可決
財産の処分について 昭和 35 年 5 月 4 日に締結した部分林契約により設定した立木を売り払い、国、造林者（平田村）と収益分収割合により分収するもの 売却する不動産（立木） 所 在 蓬田岳国有林 1208 林班わ小班 平山国有林 1227 林班れ 1 小班 内 容 スギ 外 20,007 本 売却額 1534 万 5000 円 ※分収割合 国（30％） 460 万 3500 円 村（70％） 1074 万 1500 円 売却の相手側 宮城十條林産株式会社 郡山営業所 所長 毛利広昭	可決
人権擁護委員の候補者の推薦について 人権擁護委員の関根 猛氏が令和元年 12 月 31 日に任期満了となるため、同人を再度候補者として法務大臣に推薦するもの	適任

12月定例会 一般質問

村政を問う



上遠野 廣一 議員

Q 水道事業見直しは

本村における簡易水道普及率は全体の50.1パーセントである。

- ① 新規加入はどれくらい可能か。
- ② 給水工事費の自己負担はどれくらいか。
- ③ 給水区域外の助成の見直しは検討しているのか。ボーリングで300万円から400万円のお金をかけざるを得ない人もいる。段階的な助成はできないか。



太田 清実 議員

Q 組織再編等の考えは

令和元年9月末現在、本村の人口は6千人を切り、人口減少が顕著になってきた。

組織、団体等の再編はあるのか。再編の場合、どのような形を考えるのか。

A 再編等の考えはない

▽総務課長

各行政区が主体となり区を運営しているが、存続が難しいとされる話が出ていないことから、組織は

6人の議員が登壇しました

一般質問とは……

定例議会において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり村当局の考え方や疑問をただすことです。

また、議員にとって政策の見直しや政策を提言する重要な活動の場です。

Q 小中学生に多種多様な研修を

将来の平田村を担う子供たちに、見聞を広げる機会を与えるべきではないか。

- ① 海外、国内の研修等の計画はないか。
- ② イベント等での交流事業の計画はないか。

A 新たな計画の予定はない 有効なものがあれば協議検討する

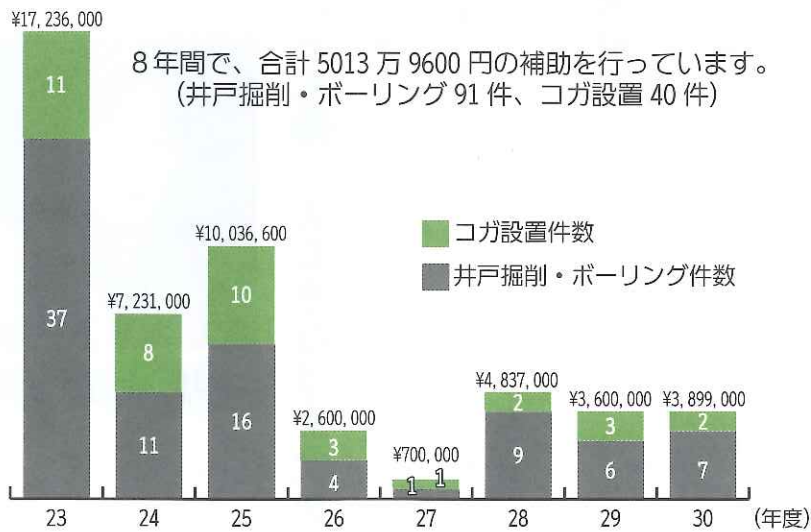
▽教育課長

① 村内の小中学校では、充実した国内研修を行い、効果を上げている。また、多彩な職場体験でキャリア教育を充実させている。

現在のところ、あらたに海外、国内研修を実施する予定はないが、有効なものがあれば取り入れることを、学校側と協議していく。

② 子供や教職員が今以上に多忙とならないよう、今は新規の計画は控えたい。

井戸掘削等事業の年度別申請状況調べ



A 現在の補助制度を継続

▽地域整備課長

- ① 約1700人分の給水が可能。
- ② 口径に応じた加入金と本管からの取り出しにかかる工事費。施工箇所によって金額は変動する。すべて加入者負担となる。
- ③ 平成23年度から実施している平田村井戸掘削等事業費補助金を継続していく。段階的な助成については、今後の検討課題とする。

維持できるものと考えます。人口の減少は見られるものの、世帯数は横ばいであり、地域における各組織、団体等の活動量に変化はないものと推測される。

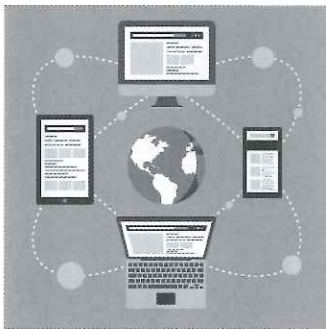
Q ペーパーレスと情報共有化を

経費節約と事務の効率化を図るため、役場庁内でのペーパーレスの取り組み状況は、また、情報共有化のためのタブレットを活用する考えはないか。

A ネットワークシステムを導入している

▽総務課長

庁内ネットワークシステムにより、出先機関を含めファイルサーバーを介して職員が共有できる仕組みを構築している。
タブレットの活用については導入経費、維持経費、セキュリティ等の検討事項が多くあり、現在は考えていない。



村特産品について学ぶ小学生
(小平小学校3年生による自然薯掘り)



キャリア教育のため郵便配達業務を行った中学生



高橋 七重 議員

Q こども園・よもぎ荘は安全か

台風19号により、よもぎ荘では避難の判断を迫られたほど、施設の裏を流れる河川が増水した。今後、こども園も建築されることから、周辺の河川整備等が必要ではないか。

A 河川整備について

関係機関に要望していく

▽地域整備課長

河川整備については、法令で定めた基準を満たした河川断面が確保されることから、必要となる河川断面、流下能力を確保するため、堆砂除去や施設改修等、引き続き関係機関に要望していく。

Q より身近な防災計画に

地域防災計画は、より地域に根差したものにすべき。そのため、地域ごとに集まり、意見集約等の場を設けるべきではないか。

A 住民の意見等を

聞きながら策定する

▽住民課長

自分の住む地域の災害リスクを確認し、防災の考え方や避難行動の仕方と、台風による新たな河川氾濫などによる洪水区域の設定については、今後開催予定の説明会において、住民の意見・要望を聞きながら策定していく。

再 Q 議会懇談会で住民から出された質問に対し、執行側は農業構造改善センターと林業研修会館の2か所で説明会を開催する予定であると答えている。しかし、日頃から共助が大事だと言っておりながら2か所だけの開催では不十分ではないか。

議会懇談会で住民から出された質問に対し、執行側は農業構造改善センターと林業研修会館の2か所で説明会を開催する予定であると答えている。しかし、日頃から共助が大事だと言っておりながら2か所だけの開催では不十分ではないか。

再 A 防災計画策定に当たり、自助・共助・公助の連携が重要視されている。18の行政区別で開催をする。

防災計画策定に当たり、自助・共助・公助の連携が重要視されている。18の行政区別で開催をする。

Q 学校給食完全無料化を

- ① 無料化の場合、予算はいくら必要か。
- ② 令和2年度からの実施の考えは。



根本 定雄 議員

A 半分は保護者負担で

▽教育課長

- ① 約3600万円が必要。
- ② これまで3分の1であった補助を、今年度から2分の1に引き上げた。来年度も引き続き2分の1補助を継続する。

再 Q 古殿町では給食費を完全無料化した。一年でも早く無料化した方が、さらに子育て支援につながるのではないか。

古殿町では給食費を完全無料化した。一年でも早く無料化した方が、さらに子育て支援につながるのではないか。

再 A 村独自の様々な支援により、保護者の子育てに係る負担はかなり軽減されていると思われる。せめて、給食費の半分は負担していただきたい。

村独自の様々な支援により、保護者の子育てに係る負担はかなり軽減されていると思われる。せめて、給食費の半分は負担していただきたい。

Q タクシー利用券の検証を

- ① 蓬田・小平それぞれの申請者数は。
- ② 利用者数と利用金額は。
- ③ 申請者・利用者が増えない理由を検証すべきではないか。

A 公共交通活性化協議会の意見等をいただく

▽住民課長

- ① 蓬田地区101人（前年度比14人増）
小平地区21人（前年度比11人）
80人。36万4500円。（令和元年10月現在）
- ② 高齢者運転による事故が社会問題として報道され、運転免許証の自主返納者は増えている。通院には送迎バスを利用したり家族の支援を受けたりするなど、地域によつてはタクシー利用の優先度が低いものと推測される。
- ③

Q 高齢者の住む地域によって要望が違う。何を望むのかを確認すべきではないか。

再A ▽住民課長

まず自分の体の健康を維持しながら、家族の協力を得て、タクシー利用をせずに済んでいるものと思われる。



祝成人 目標に向かって邁進
笑顔あふれる新成人のみなさん



凧作り 上手にできたかな？
西山二行政区・世代間交流

ちよっとここぞで地域の話題



※ 平田村での主な子育て支援



- ◎保育料・幼稚園授業料の無償化
- ◎赤ちゃん誕生祝金
- ◎子育て支援金

- ◎ぽっぽサロンなど各種教室

- ◎フッ素塗布・フッ化物洗口
- ◎支援員等の配置
- ◎放課後児童クラブ

- … 国の制度では3～5歳児が無償だが、本村では1～5歳児すべて無償。
- … 出産時に5万円支給。
- … 小学校入学時、中学校入学時にそれぞれ5万円支給。中学校入学時には子育て特別支援金としてさらに3万円支給。高校、高等専門学校等に通う生徒には高校生等通学支援金として年6万円支給。
- … 未就学のお子さんと保護者を対象に、定期的に遊び場を開放。このほか、ベビーマッサージ教室や心理士による相談会も実施。
- … 乳幼児健診やこども園・小学校において、むし歯予防のため実施。
- … 学習面での補助や悩みを相談できるよう、各学校に支援員等を配置。
- … 令和元年12月から対象者を小学6年生まで拡大し、放課後や長期休業期間中、就労等により家庭で見ることのできない児童を預かっている。



瀬谷 一男 議員

Q 災害を最小にする対策を

- ① 防災、災害対策組織の確立と村独自の訓練などをすべきではないか。
- ② 道路、水路、法面、建物等の構造物について、防災に備え設計基準の見直しを図るべきではないか。

A 自助・公助・共助により

防災意識を高めていく

▽住民課長

- ① 今回の台風19号襲来の際は、行政区長や民生児童委員の協力により、住民への避難行動の啓発に協力いただいた。今後、各地で開催予定の地域防災計画の説明会において、防災認識を高めたり避難行動を協議したり、防災訓練の実施を検討していく。

▽地域整備課長

- ② 想定外の災害が多く、大規模災害が発生するたびに関係法令の見直しが行われている。今後もその法令に沿った形で実施していく。



三本松和美 議員

Q ハザードマップの作成は

- ① 台風19号等の災害状況は十分踏まえて作成するのか。
- ② 新しいこども園、よもぎ荘周辺の北須川への対策は。

A 被害発生地区を反映させる

▽住民課長

- ① 台風19号で発生した河川の氾濫などによる洪水地域など、今後のハザードマップに表示していく。その内容は、今後開催予定の説明会で、地域住民と協議していく。

▽地域整備課長

- ② 常に情報収集に努め、関係各課と連携して緊急事態に対応できる体制整備が重要と考える。堆砂や障害物の除去、施設の改修等、引き続き関係機関に要望していく。

Q 災害時、災害後の対応は

- ① 新しいこども園の避難対策をどのように考えるのか。
- ② 国県及び村補助の対象外で、高額な復旧費が必要な箇所への対応は。

A 体制を整える

▽教育課長

- ① 災害発生が予想される場合には、福島地方気象台からの情報提供や被害想定等を参考にし、休園や一斉降園、保育教諭の付き添いによる避難所への移動などの判断をし、園児の安全を第一に考える。

▽地域整備課長

- ② 平田村農地・農業用施設小災害復旧支援事業により、早急な復旧に向け支援していく。基準に満たないものは被災者自らの責任で対処することとなるが、被害が甚大なことを考慮し、国県等に支援策を要望していく。

▽税務課長

- ② 所得税確定申告で雑損控除が受けられる。住民に周知し、来る申告相談で実施していく。



台風19号の爪痕 流された雑草木で河川氾濫
(西山字沼野平地区)

Q 村有財産の管理状況は

- ① 村所有で未登記の土地の件数は。
- ② 未登記発生理由は。
- ③ 今後の対応は。

A 予算化し、可能なものから登記している

▽地域整備課長

- ① 910筆。
- ② 相続問題、筆界未定、共有地、抵当権等による。
- ③ 平成25年度から予算化し、可能なものから登記している。今後も継続して実施する。

Q 旧蓬田中学校施設等の活用は

旧蓬田中学校の校舎、体育館、グラウンドについて、どのような活用を考えているのか。

A 一部活用で検討中

▽総務課長

校舎は、本校舎は取り壊し、3階建ての特別教室棟は利用を検討する。

体育館は、地域で利用できる体育館として活用していく。

グラウンドは、旧小野高校平田校跡地、切山グラウンドを一体的に住宅団地とすることを含め、現在庁内で検討している。

再Q

避難所としての活用を考えてはどうか。

再A

▽総務課長
検討する。



旧蓬田中体育館で練習に励む剣道スボ少

Q 村道逆水論田線

今後の工事予定は

- ① 工事に過疎代行が使えない場合、村負担が増えないか。

- ② 工事開始場所はどこを考えているのか。

- ③ 国県事業による駒形字山田地区付近への残土運搬処理による土砂流出の対策を、どのように考えているのか。

A 引き続き県に事業採択を要望していく

▽地域整備課長

- ① おただしのとおり増えることとなる。
- ② 緊急性、重要性、経済性等を検討しながら進めている。

- ③ 大雨の際、道路への土砂流出が続いたことから早急な対応を、県や業者に要望してきた。今後の対応、対策については現在協議中である。

